

2021年12月26日 学習の森中ノ沢溪谷森林公園報告 ver 1 8

R—touji sugite 03.12.26

0 1 暦の上では冬至過ぎて

最近のテレビでは冬至と言えカピバラとゆず湯がお茶の間に届けられる定番ですが、森林公園散策者にとっては大寒前の非常に貴重な時期となります。

何故って、広葉樹木が一斉に落葉して森の状況が一目で見渡せること、そしてその一本一本の樹に春に向けて小さな芽を見ることができるからです。

0 2 お山の森の木の家では、阿賀町から依頼の100種の樹木の「樹名板制作」に取り組んでいて、明石代表の現地樹木選定作業に同行させていただきました。

この時期、別名「一陽来復」でもあり、森の小径はさらっと降った雪も一瞬融けたり、小径は冷たい強風に落葉は塊となって偏り厚くなったり、一方森は見通しが進み、森に隠れた大樹・巨木の大きさを見て、こんなところにと感動圧倒される。

0 3 木の葉を落とした森の風景ご案内

0 3-1 展望台から岩村展望台越に与平の頭を見る



s DSC_7628 展望台から岩村展望台と背後の与平の頭を観る R03.12.24AM1146

03-2 菱ヶ岳登山道入口の panorama 風景



s DSC_7635 菱ヶ岳登山道入口の panorama R03.12.24PM1244.jpg

03-3 ミズバショウ湿原の風景



s DSC_7637 ミズバショウ湿原の風景 R03.12.24PM1247.jpg

03-4 グリーンハウス前森林公園 コナラ林の風景



s DSC_7643 グリーンハウス前森林公園コナラ林の風景 R03.12.24PM1252.jpg

03-5-1 イイギリ大木の群落を見る



s DSC_7617 大樹イイギリの群落を見る R03.12.24AM0856.jpg

03-5-2 イイギリ群落の中で左側大樹の全体像を見る



s DSC_7618 巨樹イイギリの全体像
R03.12.24AM0856.jpg

今回明石代表同行して、大葉（朽ちて黒くなった葉）を見せられた。イイギリですと紹介いただいた。来春から四季を通じて観察できることを期待しています。

飯桐 イイギリ属

学名 *Idesia polycarpa*

属名 *Idesia* はオランダ人の植物収集家「イーデス (E.Ides) さん」の名から

種小名 *polycarpa* は「果実の多い」意味

【樹形】 落葉高木 高さ:10~15m

【葉】 互生 卵円形 浅鋸歯 葉身長:15~30cm
黄葉するとあるが?

(※ 観察朽葉は黒葉だった)

【樹皮】 滑らか 皮目点在

【花】 雌雄異株 **枝先円錐花序 黄緑色花**

花は良香 花期:4~5月

【果実】 ブドウの房のように赤い液果

果期:10~11月

【分布】 本州、四国、九州の丘陵帯~山地帯

【別名】 ナンテンギリ

【名の由来】 イイギリの「イイ」は昔この葉で飯を包んだ 「キリ」は材が白く軽く箱材や下駄材のキリの代用として使われた

【用途】 公園樹 庭木 器具材 下駄

【季語】 イイギリの実「晩秋」

【花言葉】 「恵まれた人」「豊穡」

来春・秋 期待ください♡

03-6 見晴らしの丘からグリーンハウスを捜し見る



s DSC_7623 見晴らしの丘からグリーンハウスを捜し見る R03.12.24AM0914.jpg